

証券コード 139A
2026年3月9日
(電子提供措置の開始日 2026年3月6日)

株主各位

埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
大宮サウスゲートフロント5F
株式会社 東日本地所
代表取締役社長 黒岩 主信

臨時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社臨時株主総会（以下、「株主総会」といいます。）を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について、電子提供措置をとっており、インターネット上の以下のウェブサイトにて電子提供措置事項を掲載しておりますので、以下のいずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席されない場合は、書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら電子提供措置事項に掲載の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、2026年3月30日（月）の午後5時30分までに到着するようご送付いただきたくお願い申し上げます。

敬具

当社ウェブサイト

<https://higashi-nihonjisho.com/ir/>



上記の当社ウェブサイトにてアクセスしていただき、「その他のIR資料」を選択してご確認ください。

東京証券取引所ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)
<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



上記の東京証券取引所ウェブサイトにてアクセスしていただき、会社名または証券コード「139A」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。

記

1. 日時 2026年3月31日（火曜日）午前10時開催
2. 場所 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
大宮サウスゲートフロント5F
株式会社東日本地所会議室
3. 決議事項
第1号議案 定款一部変更の件
第2号議案 会計監査人選任の件
第3号議案 取締役（社外取締役を除く。）に対するストック・オプション報酬額決定並びに取締役（社外取締役を除く。）、執行役員及び従業員に対するストック・オプションとしての新株予約権の募集要項の決定を当社取締役会に委任する件

4. 議決権行使についてのご案内

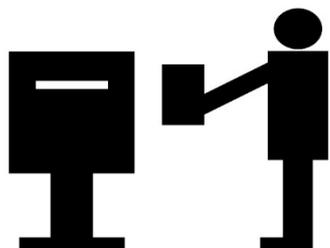
3頁に記載の「議決権行使についてのご案内」をご参照ください。

以上

-
- 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
 - 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載させていただきます。
 - 本株主総会においては、書面交付請求の有無に係らず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。

議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆様の大切な権利です。
 後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。議決権を行使する方法は以下の2つの方法があります。
 なお、議案につき賛否の表示のない場合は、賛成の意思があったものとお取り扱いいたします。



1. 書面(郵送)で議決権を行使される場合
 同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

2026年3月30日(月曜日)
 午後5時30分到着分まで



2. 株主総会にご出席される場合
 同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提示ください。

日時

2026年3月31日(火曜日)午前10時

議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書

議案	第1号	第2号	第3号	
賛否表示欄				

お願い
 1. _____
 2. _____
 3. _____

※議決権行使書はイメージです。

こちらに議案の賛否をご記入ください。

第1・2・3号議案
 賛成の場合・・・「賛」の欄に○印
 反対する場合・・・「否」の欄に○印
 をご記入ください。

株主総会参考書類

第1号議案 定款一部変更の件

1. 定款変更の理由

- (1) 当社は、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図ることを目的に会計監査人を設置するため、定款変更をするものであります。
- (2) その他、上記各条文の新設に伴う条数の変更など、所要の変更を行うものであります。

2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線部分に変更箇所を示します)

現行定款	変更案
第1条～第3条 (条文省略)	第1条～第3条 (現行どおり)
第4条 (機関) 当社は、株主総会及び取締役のほか、次の機関を置く。 1. 取締役会 2. 監査役 3. 監査役会 (新設)	第4条 (機関) 当社は、株主総会及び取締役のほか、次の機関を置く。 1. 取締役会 2. 監査役 3. 監査役会 4. <u>会計監査人</u>
第5条～第25条 (条文省略)	第5条～第25条 (現行どおり)
第26条 (取締役の報酬等) 取締役の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議によって定める。	第26条 (取締役の報酬等) 取締役の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益 <u>(以下、「報酬等」という。)</u> は、株主総会の決議によって定める。
第27条～第34条 (条文省略)	第27条～第34条 (現行どおり)
第35条 (監査役の報酬等) <u>監査役</u> の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議によって定める。	第35条 (監査役の報酬等) <u>監査役</u> の報酬等は、株主総会の決議によって定める。
第36条 (条文省略)	第36条 (現行どおり)
(新設)	<u>第6章 会計監査人</u>
(新設)	<u>第37条 (会計監査人の選任方法)</u> <u>会計監査人は、株主総会において選任する。</u>
(新設)	<u>第38条 (会計監査人の任期)</u> <u>会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。</u>

<p>(新設)</p> <p>第6章 計 算 第37条～第40条 (条文省略)</p>	<p>2 前項の定時株主総会において別段の決議がなされないときは、当該定時株主総会において再任されたものとする。</p> <p>第39条 (会計監査人の報酬等) 会計監査人の報酬等は、代表取締役が監査役会の同意を得て定める。</p> <p>第7章 計 算 第40条～第43条 (条数繰り下げ、条文は現行どおり)</p> <p>付則 2026年(令和8年)3月31日改定</p>
---	--

3. 日程

定款変更の効力発生日 2026年3月31日

第2号議案 会計監査人選任の件

当社は、財務報告の信頼性を高め、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの一層の充実を図るため、会計監査人を設置することとしたため、監査役会の決定に基づき、新たに会計監査人の選任をお願いするものであります。

なお、本議案は第1号議案「定款一部変更の件」が承認可決されることを条件としております。

会計監査人候補者は、次のとおりであります。

(2026年1月1日現在)

名称	シンシア監査法人																								
主たる事務所の所在地	東京都千代田区神田小川町3-26-8 神田小川町三丁目ビル																								
沿革	2019年3月設立 2024年7月 主たる事務所を現住所に移転																								
概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>出資金</td> <td style="text-align: right;">80 百万円</td> </tr> <tr> <td>人員構成</td> <td> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">パートナー</td> <td style="text-align: right;">3 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">代表社員</td> <td style="text-align: right;">6 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">社員</td> <td style="text-align: right;">9 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">専門職員等</td> <td style="text-align: right;">17 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">常勤</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">非常勤</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">顧問</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務職員</td> <td style="text-align: right;">40 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">10 社</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>監査関与上場会社数</td> </tr> </table>	出資金	80 百万円	人員構成	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">パートナー</td> <td style="text-align: right;">3 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">代表社員</td> <td style="text-align: right;">6 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">社員</td> <td style="text-align: right;">9 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">専門職員等</td> <td style="text-align: right;">17 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">常勤</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">非常勤</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">顧問</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務職員</td> <td style="text-align: right;">40 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">10 社</td> </tr> </table>	パートナー	3 名	代表社員	6 名	社員	9 名	専門職員等	17 名	常勤	1 名	非常勤	4 名	顧問	4 名	事務職員	40 名	合計	10 社		監査関与上場会社数
出資金	80 百万円																								
人員構成	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">パートナー</td> <td style="text-align: right;">3 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">代表社員</td> <td style="text-align: right;">6 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">社員</td> <td style="text-align: right;">9 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">専門職員等</td> <td style="text-align: right;">17 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">常勤</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">非常勤</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">顧問</td> <td style="text-align: right;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務職員</td> <td style="text-align: right;">40 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">10 社</td> </tr> </table>	パートナー	3 名	代表社員	6 名	社員	9 名	専門職員等	17 名	常勤	1 名	非常勤	4 名	顧問	4 名	事務職員	40 名	合計	10 社						
パートナー	3 名																								
代表社員	6 名																								
社員	9 名																								
専門職員等	17 名																								
常勤	1 名																								
非常勤	4 名																								
顧問	4 名																								
事務職員	40 名																								
合計	10 社																								
	監査関与上場会社数																								

【選任理由】

監査役会がシンシア監査法人を会計監査人の候補者とした理由は、同監査法人が当会社の会計監査人として求められる専門性、独立性、品質管理体制、監査報酬の水準等を総合的に勘案し検討した結果、適任と判断したためであります。

第3号議案 取締役（社外取締役を除く。）に対するストック・オプション報酬額決定並びに取締役（社外取締役を除く。）、執行役員及び従業員に対するストック・オプションとしての新株予約権の募集要項の決定を当社取締役会に委任する件

当社の取締役（社外取締役を除く。）、執行役員及び従業員に対して、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づき、ストック・オプションとして新株予約権を発行することを取締役会に委任すること、また会社法第361条第1項の規定に基づき、報酬等として当該ストック・オプションとしての新株予約権を取締役に付与することにつき、ご承認をお願いするものであります。

1. スtock・オプションに関する報酬等の額

当社の取締役の報酬等の額は、2022年11月24日開催の第6回定時株主総会において、年額200百万円（うち社外取締役分年額20百万円以内。以下、「基本報酬枠」といいます。）とご承認いただき、今日に至っております。

このたび、当社取締役（社外取締役を除く。以下、「対象取締役」といいます。）に対して、下記インセンティブを付与するとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、従来の基本報酬枠とは別枠にて、報酬等として以下ストック・オプションとしての新株予約権160個を上限として、対象取締役に對し年額21百万円以内の範囲内で新株予約権を付与することにつき、ご承認をお願いするものであります。（但し、使用人兼務取締役の使用人分給与を含みません。）。

2. 報酬等の内容（ストック・オプションとして発行する新株予約権の具体的な内容）

(1) 新株予約権の目的である株式の種類及び数

新株予約権の目的である株式の種類は当社普通株式とし、新株予約権の目的である株式の数は、新株予約権1個当たり100株とする。

なお、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により目的である株式の数を調整するものとする。但し、かかる調整は、新株予約権のうち、当該時点で行使されていない新株予約権の目的である株式の数について行われ、調整の結果生じる1株未満の端数については、これを切り捨てるものとする。

調整後株式数＝調整前株式数×分割・併合の比率

また、上記のほか、(2)に定める行使価額の調整事由が生じた場合にも、各新株予約権につき、調整後株式数に調整後行使価額を乗じた額が調整前株式数に調整前行使価額を乗じた額と同額になるよう、各新株予約権の行使により発行される株式の数は適切に調整されるものとする。但し、かかる調整は、新株予約権のうち、当該時点で行使されていない新株予約権の目的である株式の数について行われ、調整の結果生じる1株未満の端数については、これを切り捨てるものとする。

(2) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、各新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額（以下、「行使価額」という。）に当該新株予約権の目的である株式の数を乗じた金額とする。

行使価額は、金3,657円とする。

なお、当社が株式分割または株式併合を行う場合、行使価額は次の算式により調整されるものとし、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、本新株予約権の割当日後、時価を下回る価額で新株を発行する場合または自己株式を処分する場合（新株予約権の行使、株式交換による自己株式の移転の場合によるものを除く。）は、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たりの払込金額}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行前の株価}}$$

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行前の株価}}$$

上記算式において「既発行株式数」とは、当社の発行済株式総数から当社が保有する自己株式数を控除した数とし、自己株式の処分を行う場合には「新規発行」を「自己株式の処分」と読み替えるものとする。

さらに上記のほか、本新株予約権の割当日後、当社が他社と合併する場合、会社分割を行う場合、その他これらの場合に準じて行使価額の調整を必要とする場合には、当社は、合理的な範囲で適切に行使価額の調整を行うことができるものとする。

(3) 新株予約権の行使期間

2028年4月1日から2036年3月31日まで

(4) 資本金及び資本準備金に関する事項

- ① 新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。
- ② 新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本準備金の額は、上記①記載の資本金等増加限度額から同①に定める増加する資本金の額を減じた額とする。

(5) 譲渡による新株予約権の取得の制限

譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要するものとする。

(6) 新株予約権の取得条項

- ① 当社は、新株予約権の割当を受けた者が(7)に定める規定により、権利を行使する条件に該当しなくなった場合には新株予約権を無償で取得することができる。
- ② 当社株主総会または取締役会において、当社を消滅会社とする合併、当社を分割会社とする吸収分割・新設分割及び当社が完全子会社となる株式交換または株式移転を行う場合、当社は無償で本新株予約権を取得することができる。

(7) 新株予約権の行使の条件

- ① 新株予約権発行時において当社取締役、執行役員または従業員であった者は、新株予約権の行使時において、当社または当社子会社の取締役または監査役もしくは従業員の地位にあることを要す。但し、正当な理由があるとして、当社取締役会の承認がある場合はこの限りではない。
- ② 新株予約権者の相続人による新株予約権の行使は認めない。

(8) 組織再編に伴う新株予約権の承継

当社が、合併（当社が合併により消滅する場合に限る。）、吸収分割、新設分割、株式交換または株式移転（以上を総称して以下、「組織再編行為」という。）をする場合において、組織再編行為の効力発生の時点において残存する新株予約権（以下、「残存新株予約権」という。）の新株予約権者に対し、それぞれの場合につき、会社法第236条第1項第8号のイからホまでに掲げる株式会社（以下、「再編対象会社」という。）の新株予約権を以下の条件に沿ってそれぞれ交付する。この場合においては、残存新株予約権は消滅し、再編対象会社は新株予約権を新たに発行するものとする。但し、本号の取扱いは、本号に定める条件に沿って再編対象会社の新株予約権を交付する旨を、吸収合併契約、新設合併契約、吸収分割契約、新設分割計画、株式交換契約または株式移転計画において定めた場合に限るものとする。

- ① 交付する再編対象会社の新株予約権の数
残存新株予約権の新株予約権者が保有する新株予約権の数と同一の数をそれぞれ交付する。
 - ② 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の種類
再編対象会社の普通株式とする。
 - ③ 新株予約権の目的である再編対象会社の株式の数
組織再編行為の条件等を勘案の上、(1)に準じて決定する。
 - ④ 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額
交付される各新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、組織再編行為の条件等を勘案の上調整した再編後の行使価額に上記③に従って決定される当該新株予約権の目的である株式の数を乗じて得られるものとする。
 - ⑤ 新株予約権を行使することができる期間
(3)に定める新株予約権を行使することができる期間の開始日と組織再編行為の効力発生日のいずれか遅い日から、(3)に定める新株予約権を行使することができる期間の満了日までとする。
 - ⑥ 譲渡による新株予約権の取得の制限
譲渡による新株予約権の取得については、再編対象会社の承認を要するものとする。
 - ⑦ 再編対象会社による新株予約権の取得
(6)に準じて決定する。
 - ⑧ 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項
(4)に準じて決定する。
- (9) 新株予約権の行使により発生する端数の処理
新株予約権を行使した新株予約権者に交付する株式の数に1株に満たない端数がある場合には、これを切り捨てるものとする。
- (10) 新株予約権の数
370個を上限とする。
- (11) 新株予約権の払込金額
新株予約権と引換えに金銭を払込むことを要しない。

以上